移乗アイテムで笑顔が増えた
～心が動けば身体も動く、身体が動けば心も動く～

特別養護老人ホーム玄海園

所属：施設部介護課

機能訓練指導員・作業療法士：猿渡祥吾

はじめに

もったいないご利用者

症例紹介

氏名：Ｓ・Ｓ氏
年齢：８０代前半
介護区分：要介護４
主な疾患名：
黄色靭帯骨化症
HAM疑い
腎盂腎炎
30代より徐々に歩行困難
自宅では這ってでも移動

導入までの経緯

ショートステイ利用開始

急激なＡＤＬ低下に伴い寝たきりに

関わりの中で「自分で動きたいと希望が聞かれる。」

移乗・起居動作に対するアイデアの話に関心得られる

リハビリ開始となる

評価

- 上肢は自分で動かすことが出来る
- 可動域制限は見られない
- 支えがあれば座位をとれる
- 下肢の感覚はある
- 認知機能の低下は目立たない
- 疎通はとれる

- 下肢の自発的な動きが出来ない
- 自分で寝返りが出来ない
- 自分で起き上がりが出来ない
- 移乗は全介助（２名対応）

移乗動作をサポートするアイテム

上下のフレームを握ることで起き上がりをサポート

ベッド一体型で安定感UP

前に手すりがあることで移乗時に体重をかけられる。

試作時は足があったが移乗時に邪魔になり改良。

試作時

訓練内容

ベッド上で水平・垂直移動訓練

寝返り動作訓練

起き上がり動作訓練

座位バランス・体重移動訓練

トランスファーボード
を使用し移乗動作訓練

経過

導入当初
・起き上がりに介助要する
・努力的で力が入りすぎている
・動作は口頭で指導しながら行う
・身体の使いからがぎこちない
・移乗動作に時間がかかり非効率的

訓練後
・自力で起き上がり可能
・起き上がり時にギャッジアップを行ったりと本人が楽に動けるよう一緒に工夫する
・自主訓練で足の動きが若干改善する
・移乗動作はスムーズに行える
（1分３０秒程度）

表情も明るくなり、熱心に取り組む姿が見られた
自ら工夫し、実践される場面も見られる

実際の映像（車椅子からベッド）

クラブ活動や園内散歩が可能に！

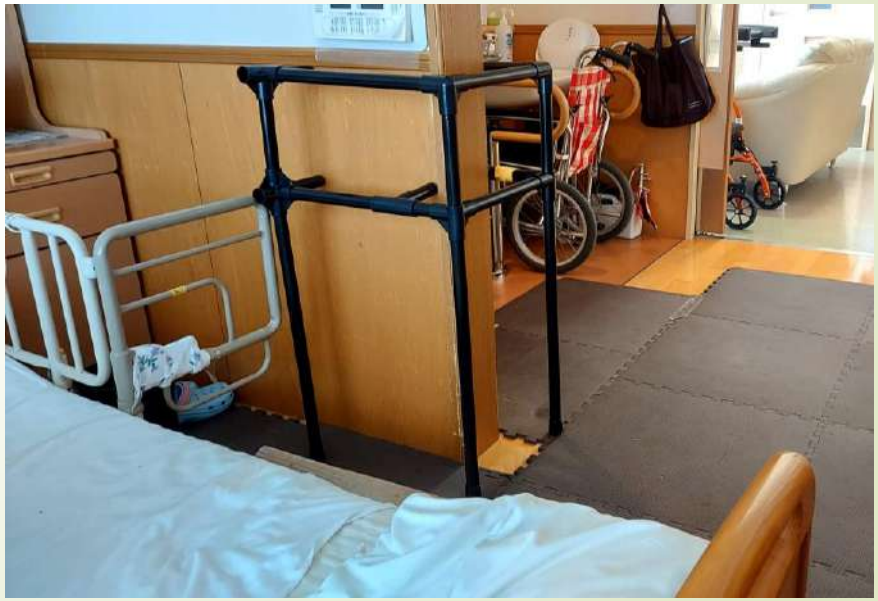
外出を伴う活動にも参加可能に！

考察

アイテムを使い移乗動作を試す	移乗動作獲得に希望が持てた
ぎこちないが自力で行える	自分で行えた喜び
自分で自主訓練を考え行われる	自発的な訓練で身体を動かす
自分で起き上がり、移乗が可能	身体が動きやすくなり、動作も上達
起き上がり移乗がスムーズになる	笑顔が増えやれる範囲が広がる

今後の課題

今回本人の能力に合わせたアイテムを使用し、移乗動作を獲得できました。今回使用したアイテムの他にも様々な移乗・移動アイテムを制作しています。他のご利用者の能力にも合わせながら使用できるアイテムが増えるよう、改良を行い、施設全体としてご利用者のADL・QOLの向上につながるよう工夫していきたいと思います。



謝辞

今回ご協力いただいた症例Ｓ・Ｓ様、ご家族に深く感謝いたします。
今後も移乗動作が維持でき、御本人の生活範囲が広がるよう関わっていきます。

ご清聴ありがとうございました。

今回使用した動画はｔｅｂｉｋｉに編集し掲載しています。
https://fmsart.tebiki.jp/videos/1326149